

## 第7部 健康教育と学校体育

### 第1章 平成27年度健康教育の方針と重点

県民が生涯を通じて、心身ともに健康で明るく豊かな生活を送るために、健康教育を推進するとともに、生涯スポーツを振興することが重要な課題である。

これを踏まえ、以下のような方針と重点を設定して、積極的に諸施策の推進に努める。

#### －方 針－

- 運動に親しみ、進んで健康で安全な生活を営む態度を育てる

#### －重 点－

- 自主的に健康管理する能力や態度の育成
- 運動に親しむ資質や能力の育成と体力の向上
- 健康に関する管理・教育の充実と事故等の未然防止

### 第1節 学校保健

#### 1 現 況

健康を保持増進し、安全の確保を図ることは、あらゆる教育活動の基盤を培うものであり、健康な心と体で充実した生活を送ることは人生の目的である。

本県においては、関係機関、団体との連携を密にしながら、学校保健についての諸施策を積極的に推進してきた。この結果、永久菌の一人当たりの虫菌の菌本数を示すDMF菌数が0.6本と全国と比較して非常に良い状態にあるなど、学校における学校保健に対する積極的な取組の成果が見られるようになってきた。しかし、児童生徒の健康状態を見ると、感染症やアレルギー疾患の対応、生活習慣病の低年齢化、不登校やいじめなどの心の健康問題など新たな課題が生じてきている。

このため、各学校においては、計画的な健康管理の徹底と日常生活に密着した保健・管理・教育の充実を図り、進んで健康で安全な生活を営む能力や態度の育成に努めなければならない。これらの推進に当たっては、全校体制による組織的活動の充実強化と、家庭や地域社会と一層緊密な連携を図ることが必要である。

#### 2 平成26年度の事業実績

##### (1) 学校保健指導

ア	小・中学校、養護教諭郡市代表者会	参加	29人
イ	高等学校・特別支援学校保健担当者会	〃	181人
ウ	小・中学校保健安全講習会（各教育事務所ごとに開催）	〃	1,120人
エ	環境衛生活動優良校・学校歯科保健優良校		69校（園）
オ	歯・口の健康づくり推進指定校（平成25～26年）	飛騨市立神岡小学校	
カ	学校保健課題解決支援事業	専門医等の派遣	7回
キ	薬物乱用防止教室講習会		82人
ク	食物アレルギー対策事業	専門医等の派遣	18回

(2) 児童生徒の健康管理

- ア 尿検査（県立学校全員） 受診45,942人（うち要精検 1,946人）
- イ 心電図集団検診（県立高校1年+県立特別支援学校〈小・中・高1年〉） 受診15,553人（うち要精検 552人）
- ウ 胸部X線間接撮影（県立高校1年+県立特別支援学校〈小・中・高1年〉） 受診15,141人（直接撮影 21人）

(3) 各種団体との連携

- ア 県医師会、県歯科医師会、県学校薬剤師会との連携
- イ 県学校保健会との連携並びに指導助言
- ウ 県教育研究会保健部会との連携並びに指導助言

### 3 平成27年度の施策

「生涯を通じて健康で安全に生き抜く力を身に付けた児童生徒の育成」を重点とし、次に掲げる施策を積極的に推進する。

(1) 全校体制の充実強化

- ア 学校保健計画の共通理解による組織的な校内体制の確立
- イ 学校保健安全委員会の活性化による学校と家庭、地域社会が連携した健康・安全課題の解決

(2) 指導者の資質の向上

- ア 各種講習会の内容の充実と運営の改善
- イ 学校保健に関する実践的研究の推進
- ウ 医師、歯科医師、臨床心理士、薬剤師、大学の教授等の講師派遣

(3) 保健教育指導・管理の充実強化

- ア 保健に関する施策の促進
- イ 健康診断と事後措置の徹底
- ウ 疾病異常のある児童生徒の管理と指導の強化
- エ 学校環境衛生検査の実施
- オ 様々な健康課題に対する健康相談の実施
- カ 学校・家庭・地域社会の連携強化

### 4 平成27年度 of 主な事業計画

(1) 保健教育の充実

- ア 学校保健活動の振興
  - ・学校保健に関する指導助言
  - ・薬物乱用防止教室講習会の開催
  - ・生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業（恵那市立大井第二小学校）
  - ・学校歯科保健推進指定校（美濃加茂市・羽島市・羽島郡）
  - ・学校保健、学校歯科保健優良校等表彰事業
- イ 指導者の資質の向上
  - ・保健安全講習会等の開催
  - ・学校保健安全中央研修会等への受講者派遣

(2) 保健管理の充実

- ア 学校環境衛生活動の推進
    - ・学校環境衛生活動調査の実施
    - ・優良校等の取組の普及啓発
  - イ 児童生徒の健康診断
    - ・心電図集団検診の実施  
(県立高校1年生、県立特別支援学校高等部1年生、  
中学部1年生、小学部1・4年生)
    - ・岐阜県方式による学校検尿の実施(県立学校全員)
    - ・結核対策委員会の開催
    - ・胸部X線間接撮影(高校1年生)
- (3) 組織活動の充実
- ア 学校保健安全委員会の育成強化
    - ・教育事務所を通じての指導助言
  - イ 関係団体等の連携強化
    - ・学校保健関係団体等の指導助言
  - ウ 学校保健総合支援事業
    - ・地域における連携体制の強化
  - エ 食物アレルギー対策事業
    - ・市町村が主催する研修会へ専門医を派遣
- (4) 国庫補助事業の指導
- ア 要保護児童生徒援助費補助金
  - イ へき地児童生徒援助費等補助金

## 第2節 学校給食

### 1 現 況

学校給食は、これまで「児童生徒の心身の健全な発達に資する」ことをねらいとして、学校の教育活動の一環として実施されてきた。このため、本県においては、学校給食の普及はもちろん、栄養のバランスのとれた魅力ある食事の提供と、給食の時間を通して望ましい食習慣の形成や勤労奉仕の精神、連帯感、責任感等の育成が図られるよう努めてきた。この結果、学校給食の実施率は小・中学校とも100%と普及し、食事内容は年々向上してきている。

しかし、近年、食生活の多様化が進み、偏った栄養摂取など児童生徒の食生活の乱れや肥満・痩身傾向などが見られ、学校において食育を推進することが喫緊の課題となっている。同時に、本来食に関する課題を中心となって担うべき家庭においても、保護者自身の食生活の在り方が問題になっている。

このような中、平成17年に食育の推進を国民運動として総合的・計画的に推進するための「食育基本法」が施行され、翌年には「食育推進基本計画」が決定された。また、平成21年には学校給食法が改正され、学校における食育の推進が目的に位置付けられるとともに、学校給食管理に加えて食に関する指導も本務とする栄養教諭が、学校給食を活用した食に関する指導を充実させることについても明記された。

これらを受け、本県においては、「岐阜県教育ビジョン」の重要施策の一つに食育の推進を掲げ、学校給食の果たす今日的役割を認識し、時代に即応した魅力ある学校給食が実施するよう取り組み、「児童生徒が食に関する正しい知識と適切な判断力を養う」ことができるよう、学校の教育活動全体を通して食に関する指導を行っているところである。特に、学校給食は、食事についての正しい理解と健全な食生活を営むための判断力の育成や望ましい食習慣、社交性や協同の精神、感謝の心や勤労を重んずる態度、食文化についての理解などの場として位置付く大切な教育活動である。したがって、学校の実態や児童生徒の発達段階に応じて魅力ある給食の時間を設定するとともに、学校給食を生きた教材として活用した食育の推進を図っていかなければならない。そのため、食育推進の中核を担う栄養教諭を平成21年度は3

人から80人に大幅に増員し、平成23年度は115人、平成24,25年度は125人、平成26年度は128人に任用・配置をした。また、各学校の食に関する指導の全体計画や年間指導計画を作成したり、校内食育推進委員会を設置したり、校内での指導体制の充実を図ってきた。さらに、家庭や地域との連携による食育推進委員会等の組織体制の整備を進めているところである。

学校給食施設設備においては、その整備に努力してきたところであるが、学校給食の食事内容の向上や献立の多様化、さらには衛生管理の徹底を図るためにも、一層の充実を図っていきたい。また、学校給食への県内産農産物の活用については、安全安心な食事の提供や食に関する指導の充実を図るために、「学校給食地産地消推進事業」により、県産米、小麦粉、米粉、大豆、きのこと類、県内産青果物（野菜、果物等）、県内産畜産物（牛肉、豚肉）を補助対象品目とし、県内産農畜産物の一層の需要拡大を図っている。

## 2 平成26年度の事業実績

### (1) 学校給食指導

#### ア 研修会の実施

- ・栄養教諭・学校栄養職員研修会 参加者 186人
- ・市町村教育委員会及び県立学校給食担当者会 “ 74人

#### イ 学校及び研究団体の指導

- ・計画及び要請による学校給食等に関する指導・助言
- ウ (公財) 岐阜県学校給食会に対する定期的な運営会議による指導監督
- エ 国庫補助事業の指導

- ・要保護・準要保護児童生徒援助費補助

### (2) 学校給食の衛生管理指導

#### ア 市町村の学校給食施設設備に係る指導・助言及び国庫補助事業の適正な指導監督

#### イ 学校給食の衛生管理等に関する調査研究（文部科学省委託事業）

- ・市町村学校給食施設15箇所
- ・県立学校3校

#### ウ 学校給食衛生管理訪問

- ・県立学校6校

### (3) 学校給食の栄養管理指導

学校給食に従事する栄養教諭、学校栄養職員の栄養管理・調理技術の向上を図るための調理実技講習会の開催

### (4) 学校給食の物資管理

給食物資の適正な品質確保と管理の徹底

- ・学校給食用パン抜き取り検査：年3回実施、実施月日6 / 26、10 / 30、2 / 26

### (5) 食に関する指導

#### ア スーパー食育スクール（文部科学省委託事業）

- ・指定校：揖斐川町立大和小学校

#### イ 家庭の食育マイスター推進事業

- ・県内全ての小学6年生児童（20,142人）に委嘱状を交付、学校と家庭をつなぐ食育を推進
- ・「中学生学校給食選手権」における食の実践力の育成

### (6) 学校給食等実態調査

児童生徒の実態及び食に関する指導等の状況把握による「岐阜県の学校給食」作成

### 3 平成27年度の施策

子どもたちが自ら望ましい食生活を実践できる態度を身に付けることができるよう、学校と家庭をつなぐ食育を重点とし、栄養教諭を中核とした施策を積極的に推進する。

- (1) 学校・家庭・地域が連携した食育推進体制の整備
  - ア 地域の食育推進組織の立ち上げ支援
    - ・スーパー食育スクール指定校における地域の食育推進組織の実践を県内へ紹介し、他地域での組織の立ち上げを支援する。
  - イ 学校段階に応じた家庭における望ましい食生活の実践を支援するための連携づくり
    - ・学校と家庭をつなぐ食育実践プロジェクト「家庭の食育マイスター」を活用して家庭との連携を図る
    - ・学校給食を生きた教材としてとらえ、「中学生学校給食選手権」に取り組み、主体的な実践力を養う
    - ・自作弁当や仲間にも働かせる知識や技術を身に付け、「高校生食育リーダー」として主体的に食習慣の改善を図る
- (2) 学校の教育活動全体を通して行う食に関する指導の充実
  - ア 幼保小中高を見通した食に関する指導全体計画・年間指導計画の工夫・改善
    - ・教科等の特性を踏まえた関連付けの工夫
  - イ 子どもを通して家庭の食育に対する意識の向上を図るための指導プログラムの作成
    - ・家庭の状況や子どもの生活スタイルに応じた食実践プロジェクトの推進
  - ウ 各地域の推進組織を生かして主体的に取り組み食育実践プロジェクトの普及啓発
    - ・事例収集と実践活用事例集の作成
- (3) 栄養教諭の学校内外におけるコーディネート力の向上
  - ア 学級担任等他の教職員との連携
  - イ 地域の食育関係機関・団体等との連携
  - ウ 調理場形態（単独校・共同）に応じた役割の明確化

### 4 平成27年度の主な事業計画

- (1) 市町村・学校に対する指導助言
  - ・スーパー食育スクールモデル推進委員会の設置による県食育プログラムの作成と周知
- (2) 給食管理の強化
  - ア 県内産農産物の利用促進
  - イ 学校給食用牛乳飲用の推進
  - ウ 学校給食の衛生管理等に関する調査研究（文部科学省委託事業）の推進
- (3) 食に関する指導の充実
  - ア 指導者の資質の向上
    - ・栄養教諭及び学校栄養職員に対する研修会の開催並びに指導助言
  - イ スーパー食育スクール事業（文部科学省委託事業）
    - ・指定校：揖斐川町立北和中学校
  - ウ G I F U食のマイスタープロジェクト事業
    - ・家庭の食育マイスター

- ・中学生学校給食選手権
  - ・高校生食育リーダー
- (4) 学校給食等に関する調査の実施
- ア 学校給食施設設備調査の実施
  - イ 学校給食等実態調査の実施
  - ウ 「岐阜県の学校給食」の作成

## 第3節 学校安全

### 1 現 況

学校を取り巻く諸環境は、社会情勢に伴い大きく変化している。従来からの交通安全や防犯に加え、災害安全が重要になってきている。特に、学校における防災管理及び防災教育の推進が求められている。

学校安全の推進にあたっては、校内の組織体制の充実はもとより、家庭、地域、警察等と密接な連携を図ることが必要である。

また、「自分の安全は自分で守る」という観点から、すべての教育活動を通して、子供自身の「危険予測能力」・「危険回避能力」・「危険対処能力」等の育成に努めなければならない。

## 2 平成26年度の事業実績

### (1) 学校安全

- ア 安全に関する資料や交通事故等に関する資料等の配布
- イ 健康教育指導者養成研修（学校安全コース）（中央研修会）
- ウ 学校安全教室推進講習会
 

5月16日	東濃地区	5月19日	美濃・可茂地区
5月27日	飛騨地区	5月29日	西濃地区
6月2日	岐阜地区		
- エ 通学路安全推進事業（山口市・神戸町・美濃市・飛騨市）
- オ 学校防災支援事業
  - ・防災指導者の派遣事業 23校
  - ・高校生防災リーダー育成事業 22校参加
- カ 学校教育ネット安心・安全推進事業
  - ・ネットパトロールの実施

## 3 平成27年度の施策

### (1) 学校安全

学校安全計画を見直し（学校や地域、児童生徒の実態に応じたものに改善）、安全な学校生活を送ることができる環境づくりに心がけると同時に、安全管理・教育に関する意識の高揚を図る。

- ア 防災管理・教育の推進（指導者派遣事業・防災教育の手引き活用）
- イ 危機管理体制の見直し（「学校安全 管理・教育の手引」改訂版の活用）
- ウ 交通事故防止の徹底、交通安全教室の推進、通学路安全推進体制の構築

- エ 効果的な安全点検の実施
- オ 防災リーダーの育成
- カ 情報モラル教育の推進

## 4 平成27年度の主な事業計画

### (1) 学校安全

- ア 安全に関する資料や交通事故等に関する資料などの配布
- イ 健康教育指導者養成研修（学校安全コース）
- ウ 学校安全教室推進講習会（交通安全・生活安全・災害安全）
- エ 学校防災支援事業
  - ・高校生防災リーダー育成事業
- オ 防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業
- カ 学校教育ネット安心・安全推進事業

## 第4節 部活動

### 1 現 況

教育活動の一環として行う運動部活動は、スポーツの楽しさに加えて、体力の向上や人間的な成長、友達づくりが充実するなど多くの効果をあげると同時に、学生生活の充実の一助となっている。

一方、運動部活動は多くの課題を抱える状況にある。行きすぎた指導、顧問の実技指導の問題や高齢化、部員数の減少などが取りあげられる。このような状況下において運動部活動の意義を改めて踏まえるとともに、「生きる力」の育成に大きく貢献できる運動部活動の活性化を図る必要がある。

## 2 平成26年度の事業実績

### (1) 運動部活動

- ア 強化運動部指導者派遣事業  
対象学校・派遣人数・回数 高等学校 100人・年間24回（1人につき24回）

## 3 平成27年度の施策

### (1) 運動部活動

望ましい運動部活動の具現化のために、次の点について配慮する。

- ア 体育・保健体育及び体育的行事、運動部活動等の関連を図り、基礎的な体力を培う。
- イ 活動目標を明確にし、能力や意欲に応じた指導に努める。
- ウ 保護者及び、地域の社会人指導者との連携を図り、活動内容の充実を図る。

## 4 平成27年度の主な事業計画

### (1) 運動部活動

- ア 運動部活動指導者研修会（サッカー・卓球）
- イ 強化運動部指導者派遣事業（高等学校100人・年間24回（1人につき24回））

## 第5節 学校体育

### 1 現 況

幼児児童生徒に運動習慣を身に付けさせるため、学校の特色ある活動に体力づくりを位置付け推進している学校が増えている。

身に付けさせたい資質や能力を明らかにし、指導目標や評価規準を明確にした授業実践や研究会が多くなっている。

一人一人が運動の楽しさや喜びを味わうとともに、運動技能や学び方を身に付けることができる指導を充実する必要がある。

## 2 平成26年度の事業実績

各種の講習会及び事業の実施により、学校体育指導者の資質向上を図ることができた。

### (1) 指導者の資質向上

#### ア 小学校体育実技指導者講習会

岐阜地区	（7月28・30日）	参加者	110名
西濃地区	（7月29・30日）	参加者	78名
美濃・可茂地区	（8月7日）	参加者	89名
東濃地区	（8月2日）	参加者	65名
飛騨地区	（7月22日）	参加者	41名

#### イ 中学校体育実技指導者講習会

岐阜地区	（8月5日）	参加者	48名
飛騨地区	（8月5日）	参加者	23名

#### ウ 高等学校体育実技講習会

岐阜・西濃地区	（6月20日）	参加者	27名
中濃・東濃・飛騨地区	（6月27日）	参加者	45名

### (2) 児童生徒の体力向上

#### ア 体力優良校表彰

表彰校数（小学校 6校 中学校 6校 高等学校 5校）

#### イ チャレンジスポーツinぎふ

参加数（2,098チーム）

表彰校数（小学校 131チーム 中学校 23チーム 特別支援学級 3チーム）

#### ウ 児童生徒の体力・運動能力調査

抽出校による新体力テストの実施により、小学校・中学校・高等学校の実態を調査するとともに、その結果をまとめ、各学校における体力づくりの資料として活用できるように工夫した。

### 3 平成27年度の施策

- (1) 自ら運動に親しむ資質や能力を育て、体力の向上を図る。
  - ア 児童生徒が運動技能を身に付け、仲間と一緒に運動する楽しさや喜びを味わうことができるようにする。
  - イ 新体力テストなどで把握した実態を基に、発達の段階に即した適切な運動の機会を計画的・継続的に位置付け、体力の向上を図るようにする。
  - ウ 体育、保健体育科の指導については、運動の特性及び児童生徒の実態を踏まえ、指導のねらいと評価規準を明確にした指導計画を作成する。また、一人一人の学習状況を的確にとらえ、指導と評価の一体化を図った展開を工夫し、個やグループに応じたきめ細かな指導を充実させる。
- (2) 体育、保健体育の時間はもとより、日常生活における運動実践の場を充実させる。
  - ア 小学校では、多様な運動経験を大切にし、体育の時間や体育の行事等との関連を図った日常的な運動実践の場を充実させる。
  - イ 中学校、高等学校では、運動部活動へ意欲的に参加させ、活動に充実感がもてるよう、運営方法や指導方法について工夫する。
  - ウ 生涯スポーツの基盤づくりと体力の向上を目指し、学校・家庭・地域社会における体育の実践を通して、自ら進んで運動を実践する習慣を身に付けることができるようにする。
- (3) 児童生徒の安全を確保するとともに、十分な運動量が確保できるよう、環境整備に努める。

### 4 平成27年度の主な事業計画

- (1) 各種講習会の実施
  - ア 小学校体育実技指導者講習会(7月～8月、5地区、各2日間、体づくり運動・ゲームボール運動・水泳・陸上運動)
  - イ 中学校体育実技指導者講習会(8月 西濃地区 球技(ゴール型) 1日)  
(8月 美濃・可茂地区 器械運動 1日)
  - ウ 高等学校体育実技講習会 (6月 中濃・東濃・飛騨地区 陸上競技 1日)  
(6月 岐阜・西濃地区 柔道 1日)
- (2) 児童・生徒の体力向上
  - ア 体力優良校表彰…体力づくりの優れた取組をし、成果を収めている学校を表彰
  - イ チャレンジスポーツinぎふの各種目の上位校を表彰
- (3) 体力運動能力実態調査(4～6月)
  - ア 小学校…全学年 小学校(抽出校) 66校
  - イ 中学校…全学年 中学校(抽出校) 32校
  - ウ 高等学校…全学年 高等学校(全日制) 63校  
高等学校(定時制) 11校

◆平成26年度全国高等学校総合体育大会入賞(1～8位)成績

(7月26日～8月20日・東京都、千葉県、神奈川県、山梨県)

成績	競技名	団体種目	所属	競技名	個人種目・氏名(学年)	所属
優勝	ボート 剣道	女子クォドルブル 女子団体	加茂 麗澤瑞浪	フェンシング 体操競技 新体操 新体操 水泳(競泳)	女子フルーレ 伊藤真希(3) 男子つり輪 高橋一矢(3) 男子総合 安藤梨友(1) 男子スティック安藤梨友(1) 男子400m自由形井上奨真(3)	大垣南 中京 済美 済美 県岐阜商
2位	フェンシング フェンシング ホッケー	男子学校対抗 女子学校対抗 女子	大垣南 大垣南 岐阜各務野	フェンシング 新体操	男子フルーレ伊藤拓真(1) 男子クラブ 安藤梨友(1)	大垣南 済美
3位	ソフトテニス レスリング カヌー	男子団体 学校対抗 男子カナディアンフォア(200m)	中京 岐南工 八百津	剣道 柔道 ボクシング ボクシング 水泳(競泳)	女子個人 佐藤みのり(2) 女子48kg級酒向亜矢香(3) ライトフライ級杉山広将(2) ライト級 池端翼(3) 男子200m自由形井上奨真(3)	麗澤瑞浪 鶯谷 中京 岐阜工 県岐阜商
4位	ヨット	女子FJ級デュエット	海津明誠	陸上 フェンシング 自転車競技 カヌー	女子3000m 青木和(3) 男子フルーレ鈴村健太(1) 4km速度競走山田諒(1) 男子カナディアンペア(500m)早川佳(3)・杉山(3)	益田清風 大垣南 岐阜第一 八百津
5位	柔道 テニス ホッケー ハンドボール 卓球 自転車競技 カヌー	男子団体 男子団体 男子 女子 女子学校対抗 4kmチームバシユート 男子カナディアンフォア(500m)	大垣日大 県岐阜商 岐阜総合学園 飛騨高山 県岐阜商 岐南工 八百津	ソフトテニス 陸上 柔道 フェンシング フェンシング フェンシング レスリング レスリング レスリング レスリング ウエイトリフ ティング テニス 卓球 自転車競技 ヨット	男子個人立木(3)・真野(3) 男子砲丸投 松岡晋乃介(3) 男子60kg級 荒井大嗣(3) 男子サーブル 山北格也(3) 男子エベ 浅井俊貴(3) 女子エベ 馬場晴菜(2) 50kg級 松井稜(1) 55kg級 桑山裕貴(3) 84kg級 廣瀬郁也(3) 96kg級 ニノ宮寛斗(2) 105kg級スナッチ松岡陽(3) 男子シングルス 堀泰也(2) 女子シングルス 王佳玉(3) 1kmタイムトライアル栗山和樹(2) 女子FJ級ソロ伊藤有(3)・伊藤愛(3) 小岩(1)・玉城(1)	中京 市岐阜商 岐阜高専 羽島北 羽島北 大垣南 中京 中津商 岐阜工 岐南工 海津明誠 県岐阜商 富田 岐南工 海津明誠
6位				ウエイトリフティング	105kg級トータル 松岡陽(3)	海津明誠
7位				ウエイトリフティング ウエイトリフティング	85kg級スナッチ 神田悠斗(3) 105kg級ジャーク 松岡陽(3)	海津明誠 海津明誠
8位	体操競技 カヌー	男子団体総合 男子カヤックフォア(200m)	中京 八百津	自転車競技	ケイリン 長谷部龍一(3)	岐南工

○全国高校総体・年度別入賞数（平成12～26年度）

年度	12		13		14		15		16		17		18		19		20		21		22		23		24		25		26	
順位	団体	個人																												
優勝	7	3	2	5	2	4	2	1	3	1	1	0	1	2	4	5	1	1	0	4	5	5	3	8	2	7	4	0	2	5
ベスト4	15	24	11	10	8	8	4	7	9	7	11	14	8	13	6	9	5	15	6	8	3	15	9	10	11	17	8	18	7	11
ベスト8	7	22	4	10	7	15	6	8	4	14	7	11	2	8	4	14	7	12	7	21	5	9	8	21	10	23	6	21	9	19
合計	78		42		44		28		38		44		34		42		41		46		42		59		70		57		53	

※平成12年度は、岐阜県で開催されたため、種目によっては例年より多くのチームや個人が参加した。

◆種目別全国大会入賞(1～8位)成績

第12回全日本新体操ユースチャンピオンシップ

(5月31日～6月1日・東京都 東京体育館)

競技	順位	種目名	氏名	学校	学年
新体操	1位	男子個人総合 (リング・ロープ・クラブ1位 スティック2位)	安藤 梨友	済美	1
	2位	男子個人総合 (リング2位 クラブ3位 スティック4位 ロープ7位)	山本 悠平	済美	3
	6位	男子個人総合 (スティック2位 リング・ロープ4位)	持館 将貴	済美	3

○平成26年度 第16回全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会

(7月18日～20日・広島県 府中市立総合体育館)

競技	順位	種目名	氏名	学校	学年
ウエイト リフティング	5位	48kg総合 (スナッチ4位 クリーン&ジャーク8位)	高橋いぶき	海津明誠	3
	7位	75kg超 総合 (スナッチ7位 クリーン&ジャーク7位)	松本 綾乃	海津明誠	2

○平成26年度 第52回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会

(7月28日～31日・広島県 つつがライフル射撃場)

競技	順位	種目名	氏名	学校	学年
ライフル射撃	2位	ビームライフル 男子団体		関有知	
	優勝	ビームライフル 女子団体		済美	
	2位	ビームライフル 女子個人	山田 智香	鷺谷	3
	3位	ビームライフル 女子個人	堀部 咲穂	済美	3

○第17回スポーツクライミング競技・JOCジュニアオリンピックカップ

(8月2日～4日・富山県 桜ヶ池クライミングセンター)

競技	順位	種目名	氏名	学校	学年
山岳	4位	リードユースA 男子	日比野良祐	大垣北	1
	6位	リードユースA 男子	亀山 凌平	各務原	3

○平成26年度 全国高等学校総合体育大会レスリング競技大会内公開競技

平成26年度 第2回全国高等学校女子レスリング選手権大会

(8月4日～5日・神奈川県 横須賀市総合体育会館)

競技	順位	種目名	氏名	学校	学年
レスリング	3位	65kg級	今川朋乃伽	岐南工	2

○平成26年度 全国高等学校ゴルフ選手権大会

(8月8日～9日・山口県 宇部72カントリークラブ 阿知須コース)

競技	順位	種目名	氏名	学校	学年
ゴルフ	2位	女子個人	小野 祐夢	帝京大可見	2

○第59回全国高等学校軟式野球選手権大会

(8月25日～31日・兵庫県・明石トーカロ球場(明石公園第1野球場)、高砂市野球場)

競技	順位	学校
軟式野球	優勝	中京

○第37回全国JOCジュニアオリンピックカップ®夏季水泳競技大会

(8月26日～30日・東京都 東京辰巳国際水泳場 )

競技	順位	種目名	氏名	学校	学年
水泳	優勝	男子 200m自由形18歳以下 チャンピオンシップ	井上 奨真	岐阜卓商	3
	3位	男子 400m平泳ぎ18歳以下 チャンピオンシップ	井上 奨真	岐阜卓商	3

◆平成26年度全国高等学校定時制通信制体育大会入賞(1～8位)成績

(8月3日～22日・東京都、神奈川県、静岡県)

成績	競技名	団体種目	所属	競技名	個人種目・氏名	所属
優勝				卓球	女子個人・西部明香梨(通1年)	華陽フロンティア
3位				陸上 ソフト テニス	男子400m・尾上晴哉(通2年) 女子個人 神田結衣(通2年) (ペア) 筒井実優(通2年)	ウイング青山学園 華陽フロンティア 華陽フロンティア
5位	バレーボール バドミントン	女子 女子団体	城南 岐阜選抜	柔道 剣道	男子75kg超級・山元大躍(通3年) 女子個人・小宮寛子(定2年)	ウイング青山学園 東濃フロンティア
6位				陸上	男子砲丸投・西 晃人(定3年)	関商工
7位	陸上	女子4×100m リレー	岐阜選抜			
8位				陸上	女子100m・山崎美歩(定3年)	大垣商

平成26年度全国中学校体育大会 入賞成績 (夏季+冬季大会)

【団体種目】

No	成績	出場種目	学校名等	備考
1	5位	ソフトテニス男子団体	多治見市立多治見中学校	
2	6位	陸上男子4×100mR	大垣市立西部中学校	
3	ベスト8	バレーボール男子	神戸町立神戸中学校	
4	ベスト8	剣道女子	郡上市立大和中学校	

【個人種目】

No	成績	出場種目	氏名	学年	学校名	備考
1	優勝	水泳女子200m平泳ぎ	今井 月	2	岐阜市立岐阜西中学校	
2	優勝	水泳女子100m平泳ぎ	今井 月	2	岐阜市立岐阜西中学校	
3	優勝	水泳男子200m平泳ぎ	下野 友寛	3	岐阜市立岐阜西中学校	
4	優勝	体操男子ゆか	斎藤 司	3	各務原市立蘇原中学校	
5	優勝	スキー男子回転	根尾 昂	2	飛騨市立古川中学校	
6	2位	新体操女子個人総合	鈴木 歩佳	3	安八町立登龍中学校	
7	2位	新体操女子個人リボン	鈴木 歩佳	3	安八町立登龍中学校	
8	2位	新体操女子個人ロープ	小林 秀圭	3	各務原市立川島中学校	
9	3位	新体操女子個人ロープ	鈴木 歩佳	3	安八町立登龍中学校	
10	3位	新体操女子個人総合	小林 秀圭	3	各務原市立川島中学校	
11	3位	柔道女子70kg級	田中 怜奈	3	羽島市立羽島中学校	
12	4位	スケート男5000m	遠藤二千翔	3	恵那市立恵那西中学校	
13	5位	水泳男子100m平泳ぎ	下野 友寛	3	岐阜市立岐阜西中学校	
14	5位	陸上男子走り高跳び	中井 翔輝	3	下呂市立下呂中学校	
15	6位	新体操女子個人リボン	小林 秀圭	3	各務原市立川島中学校	
16	7位	スケート男子3000m	遠藤二千翔	3	恵那市立恵那西中学校	
17	8位	陸上女子100mH	安達 楓恋	1	美濃加茂市立東中学校	
18	ベスト8	バドミントン女子シングル	犬飼萌々香	3	各務原市立那加中学校	
19	ベスト8	柔道女子48kg級	小島 千怜	1	羽島市立竹鼻中学校	

【過去10年間の入賞の推移】

順位	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
	団体 個人	団体 個人	団体 個人	団体 個人	団体 個人	団体 個人	団体 個人	団体 個人	団体 個人	団体 個人	団体 個人
1位		2		1 4	2				1 1 4		4
2位		2	3	4 1 4	2 1 1		2	3 1 4			3
3位	1 1	1 1	4 1 2	1 1 2 3	2 2		2		3		3
入賞	2 6	3 5	2 4 2 3	2 5 2 9	3 11	2 11	5 6	1 4		4 6	
計	10	18	17	19	17	20	20	17	22	20	23
平均	16.2					19.8					23

【夏季大会における過去5年間の出場チーム数及び出場選手数の推移】

	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	5年間の平均	H 2 6
出場チーム数（団体）	2 0	1 0	1 3	1 7	2 3	1 6. 6	1 7
出場選手人数（団体・個人）	2 8 5	1 5 3	2 1 6	2 4 2	2 3 9	2 2 7. 0	2 0 9

- \* 全国大会出場条件
- ・ 標準記録（陸上、水泳）
  - ・ 県大会優勝（柔道、剣道、相撲）
  - ・ 東海予選突破（上記以外の種目）

---

平成27年7月発行

発行 岐 阜 県 教 育 委 員 会  
編集 岐 阜 県 教 育 委 員 会 事 務 局  
教 育 総 務 課

---